



総務部 人事課 係員
令和5年
【一般職（行政）】

Message 学生のみなさんへ

就職活動中はたくさんの選択肢があり、短期間で選ぶのはとても難しいことだと思います。その中でも説明会や工場見学などを通して、少しでも造幣局に興味を持っていただき、将来の選択肢の一つとなれば幸いです。このパンフレットをご覧になった皆さんと一緒に働ける日が来ることを楽しみにしています。

● 造幣局を志望した理由

造幣局のことを全く知らない状態で説明会に参加しましたが、他の官公庁ではあまり見られない製造や販売といった業務内容に、驚きとともに興味をひかれたことが志望したきっかけでした。また、大学時代に歴史学を専攻していたこともあり、150年を超える造幣局の長い歴史の中で、一職員として貨幣製造に携わることができるということにも魅力を感じ志望しました。

● 就職活動時のこと（試験勉強や面接で工夫したことなど）

公務員試験で初めて学ぶ法律科目に最初はとても苦戦しましたが、自分の生活に置き換えて考えることで身近なものとして楽しく学べたと思います。また、面接においては、常に笑顔で相手の目を見て話すことや、普段よりもゆっくりと話すことを意識して友人と面接練習を行っていました。

● 現在の業務内容

現在人事課の給与担当に所属しており、支局も含めた職員全員分の給与や賞与の計算を行っています。また、通勤手当や住居手当といった諸手当の認定も毎月の業務として行っています。非常に大きな金額を扱うためプレッシャーもありますが、職員の皆さんの大切な給与を任されているという責任感や、無事支給できたときの達成感がとても大きくやりがいのある業務だと思います。

● 入局前後のイメージの変化

入局前は、一般職で採用されたため現場のことを知る機会はありませんでしたが、入局後すぐの新規採用職員研修で工場見学や七宝の体験等を行い、事務職であっても現場を知ることができたため、製造の場としての造幣局のイメージがより明確になりました。

● 職場の雰囲気（指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか）

雑談の中で仕事の様子や悩み等を聞いてくださる方が多く、些細なことでも話しやすい環境だと思います。また、業務に関しても、上司や前任の方が進捗を見ながらとても丁寧に教えてくださり、分からないことがあったらすぐに質問できるため非常に働きやすい職場です。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

これから先、様々な業務に携わっていくと思いますが、どこに行っても頼られる人材として知識や経験を深めていきたいと思っています。また、どの業務を行う上でも、慣れて仕事をこなしていくのではなく、常に初心を忘れずに丁寧に行くことを心掛けて仕事をしていきたいです。



広島支局 総務課 係員
令和5年
【一般職高卒（事務）】

Message 学生のみなさんへ

就職というのは人生の中で大きな節目だと思います。学生の期間よりも社会人として働く期間の方が圧倒的に長いので、学生のうちにできることはめいっぱい楽しんでください。皆さんの進路が叶うことを心から願っています。

● 造幣局を志望した理由

国家一般職試験の受験を通して初めて造幣局のことを知りました。造幣局という組織自体には馴染みがないと感じていましたが、貨幣という誰にとっても身近なものを作る機関というところにとっても興味が湧きました。公務員としては珍しく製造業であり、私が直接貨幣製造作業に携わるわけではありませんが、昔からモノづくりが好きだったので造幣局はぴったりだと思ったからです。

● 就職活動時のこと（試験勉強や面接で工夫したことなど）

短い準備期間ではありましたが、面接の場数は踏んだと思います。練習と本番を何度も繰り返すうちに、面接で言葉に詰まることがほとんどなくなりました。また、面接官が聞きたくするようなインパクトの強いエピソードや特技が一つであれば、面接でのアピールポイントになるので練習にもモチベーションが出ます。

● 現在の業務内容

広島支局総務課の経理管財担当に所属し、名前のとおり、固定資産の購入や除却といった財産の管理、有価物となる不用品の入札等の業務を行っています。知識ゼロからのスタートなので、今は日々業務を覚えることが仕事のような感じですが、教えてもらったことをメモに取り、それをもとに後日一人で手続きや書類作成ができたときはとても嬉しいです。

● 入局前後のイメージの変化

事務職といえば、一日中パソコン作業をしているイメージが強かったのですが、造幣局は何となく「工場」であり、特殊な機械や入札といった、普段なら関わることのないものを体験することができるので、思っていたよりも「刺激的だ!」と感じます。

● 職場の雰囲気（指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか）

業務説明会や面接の時にも感じていましたが、とても雰囲気の良い職場だと思います。どんな話でも職場の皆さんは笑顔でコミュニケーションを取っていて、口下手な私でも質問や会話がしやすく、居心地の良い環境で仕事に取り組んでいます。

● 造幣局で仕事をしていく中での目標

高校時代はアルバイトもしたことがなかったので、まずは働くということに慣れるのが目標です。実際、働いて給料をもらっているということ自体なかなか実感は湧きませんが、自分は社会人であると同時に公務員であることを忘れずに、早く一人前になれるよう日々仕事を頑張っていきたいと思っています。

● **造幣局を志望した理由**

国家公務員試験の採用予定機関一覧の中に、「造幣局」という文字を見つけて説明会に参加したのがきっかけです。公的な機関でありながらモノづくりを行っているところに他の官公庁にはない魅力を感じました。大学で専攻していた化学の知識を生かせる業務があると知ったことも志望動機の一つです。

● **就職活動時のこと(試験勉強や面接で工夫したことなど)**

面接で大学での研究内容について話すときは、なるべく専門用語を使わず、簡単な言葉に置き換えるよう心掛けていました。就職活動中は対策不足を不安に思うこともありましたが、睡眠時間だけは十分に確保して体調を崩さないよう気を付けました。

● **現在の業務内容**

試験鑑定課では、貨幣や勲章の材料となる金属の品位(純度)の分析や、品位を証明する記号(ホールマーク)を金属工芸品に打刻する作業、工場排水に有害物質が含まれていないかどうかの検査等を行っています。私の業務はそれらの作業が円滑に進むようサポートすることです。具体的には、作業に必要な薬品や器具の購入、分析機器の修理・点検の手続きを担当しています。

● **入局前後のイメージの変化**

就職活動時は貨幣の偽造防止技術の開発といった造幣局の比較的新しい側面に興味を持っていましたが、入局後は歴史と伝統に委みを感じるが増えました。古くから使われている機械や文献の多さはもちろん、熟練度が物をいう技術が伝承され続けていることに驚かされます。

● **職場の雰囲気(指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか)**

試験鑑定課では分析作業を行う現場職員とそれをサポートする事務職員とが協力して働いています。年齢も人柄もバラバラですが、誰にでも気軽に質問できる雰囲気があり、安心して仕事に臨むことができています。

● **造幣局で仕事をしていく中での目標**

今は担当の業務を確実にこなすことを目標にしていますが、これから経験を積む中で自分の得意分野を見つけ、他にはない視点から気付くことができる人を目指したいと思っています。また、造幣局ならではの業務を経験することも多いので、今後もそういった機会を楽しみながら仕事を続けていきたいです。



研究所 試験鑑定課 係員
令和5年
【一般職(化学)】

Message 学生のみなさんへ

入局してしばらく経ちますが、未だに財布の中の小銭が自分の職場で作られていることに不思議な感覚を覚えます。貨幣ほど誰にとっても身近なものは珍しく、その製造の一端を担う経験は他ではできないはず。ぜひ、説明会や工場見学等に足を運んで、造幣局の魅力を知っていただきたいです。

● **造幣局を志望した理由**

貨幣という、誰でも保有・使用できる公益性の高い製品を製造しているところに独自の魅力を感じ、業務説明会に参加しました。理系として学んできた知識が業務に生かせるかもしれないと感じたことや、大阪にある本局はアクセスの良い場所にあったことも後押ししました。説明会で実際に職員の方からお話を聞く中で、自らに合いそうな雰囲気を感じ、造幣局を志望するに至りました。

● **就職活動時のこと(試験勉強や面接で工夫したことなど)**

試験に関しては出題範囲をよく確認し、知識不足を感じた部分を重点的に補いました。面接においては、ありきたりなことを言う場合でも表現に何かひと工夫し、印象を残せないかと考えながら話すように心掛けていました。

● **現在の業務内容**

貨幣を製造するにあたり必要となる装置部品の耐用年数の集計や、製造途中で発生した品質異常に関するデータ測定を行っています。業務に携わるまでは品質測定に用いる機器に触れた経験はありませんでしたが、先輩に教わりながら知見を広めてきました。他には庶務的な事務作業を担ったり、会議資料の議事録作成に携わったりしながら日々学んでいます。

● **入局前後のイメージの変化**

入局前は経験豊富な年齢の高い職員でなければ重要な仕事をこなすことはできないと考えていました。実際の業務を通じて、必ずしもそれが全てではなく、若手職員であっても重要な仕事を任されている方は多くいると気づき、本人の努力による側面が大きいと痛感しました。

● **職場の雰囲気(指導員や上司との関係、どのようにして職場に慣れたか)**

質問がしやすく、質問にも誠実に答えてくださる親切なお方々のもとで業務に励めていると感じます。丁寧に指導をしてくださっている上司の方々の足を引っ張らないように、学ぶ意欲だけは欠かさないようにしてきました。

● **造幣局で仕事をしていく中での目標**

現在は入局して間もないのでこなせる業務も少ないですが、いずれは一つ一つの業務の背景にある本質を理解し、必要性や環境に応じて柔軟に業務を改善できる人材に成長したいと考えています。臆することなく様々な業務に着手していきたいです。



貨幣部 生産管理課 係員
令和5年
【総合職(工学)】

Message 学生のみなさんへ

これから何が正解が分からない場面に直面する機会が増えることと思います。悩みたくなるのも当然の心理だと思いますが、あまり深く考えすぎて疲れては本末転倒ですので、時には自分の直感や決断を信じて、豪快に自らの道を突き進んでいただければと思います。

先輩からのメッセージ 入局して間もなく10年。今、感じることに！



総務部 調整室 主任
平成 29 年
【総合職（工学）】

貨幣の製造を円滑に遂行するために

●現在の業務内容

造幣局は、財務省と貨幣の製造に関する事務に係る契約を締結し、貨幣の製造を行っていますが、私は、その契約に関して造幣局内外の関係者との連絡調整業務を行っています。契約を確実に履行するために、日々通貨当局及び局内の関係者に対して密に情報提供を行うとともに、必要な連絡調整を行っています。直接貨幣の製造に従事するわけではありませんが、裏方として貨幣の製造が円滑に遂行されるよう業務を行っています。

●仕事をする上で心掛けていること

仕事は様々な関係者と共に進めていくものですが、同じ仕事に取り組んでいても関係者の立場ごとに考え方は異なります。現在行っている連絡調整業務をする上では、仕事が円滑に進むよう自分の立場でのみ物事を考えるのではなく、相手方の立場に立って物事を考え、関係者全員が納得する形で仕事が進められるような調整を行うよう心掛けています。

●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

入局後、初めて配属となった部署で記念貨幣及びプルーフ貨幣の作業計画の立案業務に携わったことが印象に残っています。当時は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣等の様々な記念貨幣の製造が予定されており、また、令和への改元に伴いプルーフ貨幣セットの製造数量を検討するなど、立案した作業計画を何度も見直す必要がありました。右も左も分からない中で、周囲の方々に助言や協力をいただき、無事に貨幣製造計画を達成できたことは非常に印象に残っています。

ある日のスケジュール

9:00	出勤・メールチェック
10:00	決裁文書の作成
12:00	昼休み
13:00	作業依頼に関する関係部署との打ち合わせ
16:00	幹部への決裁説明
17:30	退庁

Message 学生のみなさんへ

造幣局は、公的機関の中では珍しく「モノづくり」を行っている機関です。パンフレットやインターネットだけでは知り得ない情報も数多くありますので、少しでも興味を持たれた方は、業務説明会や工場見学、職業体験プログラムに参加していただき、生の職員の声を聞いていただければと思います。



総務部 総務課 主任
平成 28 年
【一般職（行政）】

規律の面から組織を支える

●現在の業務内容

総務課の法務担当として、局内規程の改正や文書管理及びコンプライアンス遵守への取り組みに係る業務に携わっています。局内規程の改正については、改正内容の審査や所見書の作成等を行っており、文書管理業務では、造幣局が作成・取得した法人文書を綴ったファイルについて、その分類や保存期間等を記載した管理簿を作成し外部に公表しています。また、コンプライアンス遵守への取り組みとしては、全職員対象の研修の実施や社内報への記事掲載等、定期的な啓発活動を行っています。

●仕事をする上で心掛けていること

他の職員とのコミュニケーションを大切にすることです。仕事の正確性や迅速性の重要さはさることながら、同僚や上司とまめにコミュニケーションを取ることで、ミスの防止や職場の雰囲気・人間関係を良好に保つことにつながり、長く職場で働いていく上で非常に重要だと感じています。また、プライベートでも同期と夕食に行くなど、交流を大切にしています。

●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

人事課での採用活動や定年退職手続き等、約3年の在籍期間で様々な業務を経験したことです。中でも特に、業務説明会を通じて採用担当者という立場で学生の皆さんと触れ合えたことは新鮮だったので強く印象に残っています。また、採用活動を経て内定者の方々が4月に入局する姿を見た時には、大きな喜びとやりがいを感じました。

ある日のスケジュール

8:30	出勤
8:35	メールチェック・返信
9:00	規程改正の事前審査
12:00	昼休み
12:45	文書管理システム問い合わせ対応
14:00	文書管理システム運用保守打ち合わせ
16:00	規程改正に係る所見書の作成
17:00	退庁

Message 学生のみなさんへ

就職活動においては悩まれることが多いと思いますが、まずは積極的に業務説明会等に参加し、幅広く情報収集するのが良いのではないのでしょうか。このパンフレットを読んで造幣局に興味を持っていただけたら、ぜひ業務説明会や工場見学にお越しください。



広島支局 保全課 主任
平成 28 年
【一般職 (電気・電子・情報)】

設備の安全稼働を第一に

●現在の業務内容

広島支局保全課では、工事の設計・監督、建物・機械設備の点検修理、そして電気・ガス・水道等のライフラインや樹木の維持管理に関する業務を行っています。私の担当は主に、各設備の保守点検作業を外部業者へ委託する際、仕様書の作成等発注に向けて手続きを行い、施工監督を行うことです。また、広島支局にのみ設置されている溶解・圧延設備は、貨幣製造の最初の工程で使用される重要な設備であることから、予防保全体制を導入し安定稼働に努めています。その一環として各職場と修理作業の実施状況の確認を行う会議を定期的に開催しており、会議資料の作成も行っていきます。

●仕事をする上で心掛けていること

業務の性質上、毎年行っている設備の点検の手続き等、前例踏襲で進めることが多いのですが、なぜこの点検を行わないといけないのか、しっかりと自分の中で整理し、落とし込んでから手続きを進めるようにしています。前回も同じように実施しているからという気構えで済ませてしまうと自分の成長にもつながりません。

●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

広島支局に転勤し、配属となった貨幣第一課での仕事です。早番と遅番の2交替制勤務という少し特殊な環境の中で、製造部門の仕事に初めて携わるということもあり、不安でいっぱいでした。製造ラインが一つしかない設備もあり、不具合により機械が停止してしまうと後工程にも大きな影響を与えてしまうため、安定稼働が何より求められる部署でした。必要な修理・点検の実施、部品の購入に係る事務作業が多く、苦勞することも多々ありましたが、上司や現場職員の方とコミュニケーションを取りながら、一つ一つ確実に実施していき、各工程の抱える問題を解決していった日々は、今でもとても印象に残っています。

ある日のスケジュール

8:30	出勤
9:00	設備点検の立ち会い
12:15	昼休み
13:00	仕様書の作成
14:30	製造部門との会議
17:00	退庁

Message 学生のみなさんへ

貨幣を取り巻く環境はこの数年で大きく変化していますが、造幣局はそのような時代の変化を受け入れつつ新たな課題に挑戦していこうとしており、いろいろなことにチャレンジできる環境が整っています。造幣局のモノづくりに興味を持たれた方、チャレンジ精神あふれる方、ぜひ一緒に働いてみませんか。



研究所 研究開発課 係員
平成 29 年
【一般職 (化学)】

造幣局の技術力向上への貢献

●現在の業務内容

研究開発課では、造幣局の事業に関する技術の研究をしています。その中で、私はグループ貨幣用の金型の表面処理に関する調査研究等を行っています。研究を進めるにあたっては、論文を読んだり、学会へ参加したりして、現在の研究がより進展するよう情報収集に努めるとともに、収集した情報を活用し、研究チームのメンバーと協力しながら、造幣局の技術力向上に貢献できるよう日々研究に励んでいます。

●仕事をする上で心掛けていること

報連相を大切にしています。こまめに上司や同僚、関係部署等とコミュニケーションを取ることで、円滑に業務を進めることができているからです。また、上司からの指示等で不明な点がある場合は必ず確認するようにし、齟齬が生まれトラブルやミスにつながらないように心掛けています。

●これまでの仕事で印象に残っていること、やりがいを感じたこと

財務省本省への出向も含めて、これまで様々な部署を経験しましたが、現在所属している研究開発課での調査研究が印象に残っています。研究を進めていくうちに、思いどおりの結果が得られないことが何度ありましたが、自分の考えだけにこだわらず、上司や同僚の意見も取り入れながら対応策を考え実行し、良い結果が得られたときは大きな達成感を感じました。改めて、固定観念にとらわれず多角的に物事を考える大切さを学びました。

ある日のスケジュール

8:00	出勤・メールチェック
8:15	課内ミーティング
9:00	研究チームで実験内容に関する打ち合わせ
9:30	実験開始
12:00	昼休み
13:00	実験結果まとめ・考察
15:00	決裁文書作成
16:30	退庁

Message 学生のみなさんへ

造幣局に少しでも興味がある方は、ぜひ業務説明会や工場見学に参加してみてください。パンフレットの情報だけでは分からない造幣局の雰囲気を肌で感じることでできる良い機会だと思います。皆さんと一緒に働くことができるのを楽しみにしています。